

令和8年度版 八幡東区事業概要

八幡東区のまちづくり



八幡東区役所

も く じ

八幡東区の生いたち

八幡東区の魅力づくり

八幡東区のまちづくり

○ 令和8年度八幡東区関連事業	1
○ 八幡東区の見どころ	2 1
○ 統計で見る八幡東区	3 0
○ 八幡東区役所のごあんない	3 2
○ 八幡東区的主要公共施設等一覧	3 7
○ きちゃり～！見ちゃり～！八幡東 ～ SNS & BOOK ～	4 2
○ 八幡東区 観光マップ	4 3

八幡東区の生いたち

八幡東区は昭和 49 年の旧八幡区の分割により誕生しました。

さかのぼれば、明治 34 年、この地に官営八幡製鐵所が誕生し、以来、鉄鋼を中心とした基幹産業を背景にわが国の経済成長を支え続けてきました。

大正3年頃の八幡



近年、産業構造の転換、バブルの崩壊、長引く不況といった時代の荒波を受け、八幡東区は「人口の減少」「少子・高齢化」等の問題を抱えてはいるものの、各種産業分野において、技術の集積やネットワーク化、学術・研究分野との連携、産業支援基盤整備の促進など、「産業・地域の活性化」にむけて市民・企業・各種団体・行政が一体となって取り組んでいるところです。

八幡の名称の由来

明治 22 年（1889 年）4 月に町村制が施行され、尾倉（オグラ）村・大蔵（オオクラ）村・枝光（エダミツ）村が合併して八幡（ヤハタ）村が誕生しました。「八幡」の由来は、三つの村とも産土神（うぶすな）様として八幡神社を祭っていたので「八幡」と名付けたといわれています。

主 な で き ご と

明治 22. 4. 1	町村制施行（尾倉村・大蔵村・枝光村が合併、八幡村となる）	23. 11. 29	長崎街道（東田遊歩道）整備
33. 2. 15	町制施行	24. 5. 26	スマートコミュニティセンター オープン
34. 2. 5	官営八幡製鐵所東田第一高炉火入れ（操業開始）	26. 10. 4	全国餃子祭り開催
大正 5. 7	遠賀郡黒崎町の一部（前田）を編入	27. 4. 1	帆柱ケーブルが皿倉山ケーブルカーに改称（社名：皿倉登山鉄道株）
6. 3. 1	市制施行	27. 7. 5	官営八幡製鐵所関連施設が「明治日本の産業革命遺産」のひとつとして世界文化遺産登録決定
14. 4. 28	企救郡板櫃町の一部（槻田及び板櫃の一部）を編入	28. 3. 24	八幡東消防署新築移転
15. 11. 2	遠賀郡黒崎町を編入	28. 4. 22	八幡図書館移転オープン
昭和 2. 3.	河内貯水池完成	28. 5. 2	国家戦略特区「けやきテラスプロジェクト」スタート
20. 8. 8	空襲により八幡のまちは焦土と化す	29. 3. 1	旧八幡市制 100 周年記念式典開催
32. 11. 12	帆柱ケーブル開通	29. 7. 29	まつり八幡東 in 2017 開催
38. 2. 10	北九州の五市が合併し、北九州市となる	29. 12. 9	まちづくりプランシンポジウム開催
38. 4. 1	政令指定により区制施行（八幡区）	29. 12. 31	スペースワールド閉園
49. 4. 1	行政区再編成により八幡区を東西に分区、八幡東区・八幡西区を新設	30. 10. 3	皿倉八景選抜総選挙において「皿倉八景」を決定
平成 2. 4. 2	宇宙体験型テーマパーク「スペースワールド」開業	30. 12. 25	新八幡病院開院
8. 3. 27	東田第一高炉が市指定文化財（史跡）に指定	31. 2. 14	皿倉山スロープカー軌道にイルミネーションを整備
11. 7. 2	J Rスペースワールド駅開設	令和元. 10. 5	プレミアム夜景の日（皿倉山山頂イベント）
12. 11. 21	河内温泉「あじさいの湯」オープン	元. 10. 19	2019 九州ぎょうぎ祭り in 北九州開催
13. 6. 30	帆柱ケーブルリニューアル	2. 6. 19	桃園市民プールリニューアルオープン
13. 7. 2	北九州都市高速「枝光出入口」開通	2. 7. 5	官営八幡製鐵所 世界遺産登録 5 周年
13. 7. 4	「北九州博覧祭 2001」開幕	3. 2. 5	火入れ 120 周年記念 1901 東田第一高炉ライトアップ
14. 4. 6	環境ミュージアムオープン	3. 3. 31	大谷会館閉館
14. 11. 3	北九州市立自然史・歴史博物館（いのちのたび博物館）オープン	3. 8. 14	東京 2020 パラリンピック聖火採火式開催
18. 12. 19	南河内橋が国の重要文化財に指定	3. 10. 18	世界体操選手権大会 総合体育館で開催
19. 4. 21	北九州イノベーションギャラリーオープン	4. 4. 28	ジ アウトレット北九州オープン
19. 11. 30	東田第一高炉跡や河内貯水池などが近代化産業遺産に認定		新科学館（スペース LABO）オープン
19. 12. 28	皿倉山スロープカーと皿倉山頂展望台オープン	5. 3. 18	国道 3 号黒崎バイパス 春の町ランプ 開通
20. 3. 1	J R八幡駅ビルグランドオープン	5. 9. 2	まつり八幡東 2023 開催
21. 9. 18	北九州水素ステーション開設	6. 5. 11	桃園武道場オープン
22. 6. 4	アジア低炭素化センターオープン	7. 4. 25	皿倉山山頂 絶景の遊び場オープン
22. 12. 15	都市計画道路「東田出入口」開通	8. 4. 30	桃園公園わんぱく広場リニューアル

八幡東区の魅力づくり

【現状と課題】

八幡東区は、官営八幡製鐵所（現日本製鉄）の発祥地であり、近代日本の発展の礎となったまちです。現在では、工場・社宅跡地などが総合的に整備され、新しいまちづくりが進んでいます。

その一方で、市内でも高齢化率が高く、山すその斜面地や高台に広がった住宅地には老朽家屋などが目立ってきています。また商店街の空き店舗の増加や未利用地の発生が懸念されます。今後は盛んな地域コミュニティ活動の強みを活かし、新しく整備された地区と旧市街地との一体化によるまちづくりや安全・安心で暮らしやすいまちづくりが求められています。

【地域資源】

<八幡駅前地区>

J R八幡駅前地区では、駅前の立地を活かして、土地の高度利用と景観整備により、住宅と商業・業務機能が一体となった市街地が整備されています。



<平野地区>

平野地区では、独立行政法人国際協力機構（JICA）九州国際センターや公益財団法人北九州国際技術協力協会（KITA）、九州国際大学などの集積により、海外から多くの研修員や留学生の受入れが活発に行われています。また、音響効果の優れた市内唯一の音楽専用の響ホールがあります。

<東田地区>

八幡東田地区では、アミューズメント施設や大型商業施設、さらにはタカミヤ環境ミュージアムや自然史・歴史博物館（いのちのたび博物館）、スペース LABO（北九州市科学館）などの文化施設が集積し、多くの市民や観光客でにぎわっています。また情報通信関連産業などの集積が行われるとともに、産官学民が連携し、多様な先端サービス・技術の実証・実装等を推進する「東田・未来都市プロジェクト」により、未来社会の実現を目指した取り組みが始まっています。

<高見地区>

緑豊かな丘陵地に囲まれた板櫃川が流れる高見地区では、戸建・共同住宅や商業・生活関連施設などの一体的な整備が進み、子どもの自然体験の場となる「板櫃川水辺の楽校」が整備されています。



<皿倉・河内地区>



皿倉山山頂

市街地の背後には、緑豊かな皿倉山がそびえ、そのふもとにある河内貯水池周辺は、かつて八幡の奥座敷と称された風光明媚なたたずまいを有しています。

また、日本の産業近代化の礎となった官営八幡製鐵所関連施設が「明治日本の産業革命遺産」のひとつとして世界遺産に登録され、東田第一高炉跡や河内貯水池、旧百三銀行八幡支店など他の近代化産業遺産とともに注目が集まっています。



東田第一高炉跡

【まちづくりの方向性】

① 歴史ある製鉄関連などの企業や先端産業が集積する東田地区と商店街などの市街地が連携して新たなビジネスの創出に挑戦し、ともに発展するまちづくりを推進します。

② 夜景の名所である皿倉山や東田地区の各種施設、河内地区の自然など、高い集客力を持つこれらの地域資源の連携を図るとともに、伝統文化に根差した祭りや食の魅力の活用、宿泊機能の強化などにより、観光などで訪れた人たちが循環し、滞在するまちをつくります。



河内貯水池（堰堤）

③ 高い交通利便性や医療・健診機関の充実に加え、様々な体験や学びが身近にできる恵まれた環境を生かし、まちなかにある未利用地の利活用や居住の促進により、誰もが住み続けたいくなるまちをつくります。



枝光やまさが乗合ジャンボタクシー

④ 製鉄のまちとして培ってきたシビックプライドや、主体的にまちづくりに取り組んできた地域・市民・企業の力をこれからも育み、サステナブルなまちづくりを推進します。

令和8年度 八幡東区のまちづくり【概要版】

八幡東区は、官営八幡製鐵所創業の地として、近代日本の発展の礎となったまちです。

東田地区では先端産業の集積や大型商業施設の立地に加え、「いのちのたび博物館」「スペースLABO」をはじめとする学び体験施設や、次世代を担う教育環境も充実しています。

さらに、自然豊かな河内地区や日本新三大夜景の皿倉山など、当区は産業遺産・教育文化・自然環境が凝縮された、北九州市屈指のポテンシャルエリアです。令和6年3月に策定された北九州市基本構想・基本計画に基づき、これらの豊かな地域資源を活かした魅力あるまちづくりを進めていきます。

魅力・強み

- ◎日本の近代化を支えた「産業遺産のまち」
- ◎東田地区は「学び・遊び・買い物」を一体化した未来都市への進化が続く
- ◎豊かな自然(河内・皿倉山)・歴史・文化資源
- ◎国際交流・人材育成拠点

課題

- 人口減少対策(定住・移住促進)
- 高齢化対策(健康・介護・移動支援)
- 空き家・斜面地対策
- 地域コミュニティの担い手確保と防災力向上

まちづくりの方向性

1

歴史ある製鉄関連などの企業や先端産業が集積する東田地区と商店街などの市街地が連携して新たなビジネスの創出に挑戦し、ともに発展するまちづくりを推進します。

2

夜景の名所である皿倉山や東田地区の各種施設、河内地区の自然など、高い集客力をもつこれらの地域資源の連携を図るとともに、伝統文化に根ざした祭りや食の魅力の活用、宿泊機能の強化などにより、観光などで訪れた人たちが循環し、滞在するまちをつくります。

3

高い交通利便性や医療・健診機関の充実に加え、様々な体験や学びが身近にできる恵まれた環境を生かし、まちなかにある未利用地の利活用や居住の促進により、誰もが住み続けたいまちをつくります。

4

製鉄のまちとして培ってきたシビックプライドや、主体的にまちづくりに取り組んできた地域・市民・企業の力を今後も育み、サステナブルなまちづくりを推進します。

「稼げるまち」の実現

- 稼げる「人」を育む
(新)得意を活かす！シニアの起業応援事業、(新)経験を力に変えるシニア活躍応援事業[産業経済局]
(新)第2子以降の保育料完全無償化事業[子ども家庭局]
- 稼げる「産業」をつくる
(新)商店街あつまる・つながる拠点づくり支援事業、(新)食の魅力創造事業[産業経済局]



八幡中央区商店街

「彩りあるまち」の実現

- 彩りある「空間」をつくる
(新)未来をひらく！わくわく学校図書館プロジェクト事業[教育委員会]
桃園公園等施設再配置計画推進事業[都市整備局]
- 彩りある「時」をつくる
(新)地域連携による科学館集客力強化事業、「歌でつながる。歌で華やぐ。」うたのまち北九州市、インバウンド誘致促進事業[都市ブランド創造局]
皿倉山リニューアル事業[都市整備局]
まつり起業祭八幡、皿倉山健康ウォーク、
光り輝け・八幡愛ラブレインボーイルミネーション、
八幡ぎょうざなどの八幡東区の魅力発信
祇園祭や盆踊り、皿倉山山頂イルミネーション、八幡夢みらい協議会、KEYAKI TERRACE YAHATA、
八幡高校夢現プロジェクト等



河内藤園

赤太字は八幡東区主催・支援事業

「安らぐまち」の実現

- 生活基盤の「安心」を支える
(新)防災ガイドブック・ハザードマップ更新事業、(新)総合防災情報システム機能強化整備事業[危機管理室]
(新)地域のチカラつなぐ事業、(新)未来の社会の創り手育成事業[総務市民局]
八幡東区×奥村組九州支店 災害時におけるマンホールトイレの使用に関する協定
- 暮らしの「安心」を支える
(新)「まちの縁側・リビング」設置促進[総務市民局]
(新)介護予防のための体力測定会実施事業、(新)「ケイケン・タカラ」事業[保健福祉局]
八幡東区、九国大、自治総連、まち協連の包括連携協定による各種事業の推進
(新)大学生とつくる未来型自治会プロジェクト
(新)公園愛護会を地元企業などが支援！みんなの公園サポートプロジェクト
- 子ども・子育ての「安心」を支える
(新)5歳児検診モデル事業、(新)保育ソーシャルワーカー事業[子ども家庭局]



親子ふれあいルーム

赤太字は八幡東区主催・支援事業